

キアシナガバチ

体長は 21mm～26mm 程度で、日本のアシナガバチの仲間の中では大きい種です。セグロアシナガバチと似ていますが、背中が黄色ことで見分けられます。

市街地には少なく、林や緑地などで見られ、4月中旬ころから軒下（のきした）や木の枝の下などに巣を作ります。

攻撃性はアシナガバチの中ではやや強く、巣を刺激したり、直接本種を持つなどしなければ、刺されることはありません。

富士市での現状

林や緑地などで確認しました。

本種はやや里山のハチであり、セグロアシナガバチと比べ個体数が多い種ではなく、以前と確認できる場所や個体数は変わっていないようです。



キアシナガバチを確認したメッシュ

